

赤い羽根だより



赤い羽根共同募金運動が始まります



皆様の温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします

赤い羽根共同募金は昭和22年に運動を開始してから、今年で72回目を迎えます。

赤い羽根共同募金にお寄せいただくやさしい思いは、じぶんの町を良くする活動を支援するために使われています。

皆様方のあたたかいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

1. 赤い羽根共同募金運動は毎年10月1日～12月31日の間に展開され、期間中は様々な企業・団体に募金箱を設置いただいております。

○平成30年度 県内の主な募金箱設置企業（予定）

アイ・オー・データ機器、石川商事、石川テレビ放送、キセキ北陸、小倉建設、カタニ産業、金沢東ロータリークラブ、北川瀝青工業、北川ヒューテック、北日本紡績、久世ベローズ工業所、サンレー、柴電気工事、清水建設北陸支店、城西運輸機工、大日製作所、中日新聞北陸本社、東亜電機工業、トータルライフ、中村留精密工業、日栄商事、ホクコク地水、北陸建材、北陸鉄道、北陸電力石川支店、北陸電話工事、北陸郵政研修センター、北菱電興、北興建設、北国銀行、北国総合リース、北国不動産、前多、山崎電機、米沢電気工事（敬称略）

2. 共同募金運動は平成28年度から期間が延長され、1～3月を地域課題を解決するテーマ型募金等、新しい募金手法による運動期間とされました。平成29年度における募金実績は全国で約2億5,600万円に達するなど、全国的に広がりを見せています。

テーマ型募金は、特定の地域課題等を募金テーマとして掲げ、課題解決に取り組む団体が主体となって自らの活動を伝え、寄付を訴えかける募金手法です。県内では白山ろく地域での雪かきボランティアや各種サロン、高齢者の健康づくりなど地域を支えるために複数の団体が活動しています。

各市町においても、取り組みについてご検討いただけたら幸いです。

平成30年度石川県の目標額 **2億1,628万円** { 一般募金 1億2,857万円
歳末たすけあい募金 8,771万円

平成29年度募金の使い道

○安心して暮らせる地域づくり事業や高齢者・障害者・子育てを支援する事業への助成

- ・各市町で事業を実施する団体等へ 9,731万円（災害等準備金取崩配分312万円を含む）
- ・県全域で事業を実施する団体等へ 326万円（災害等準備金取崩配分17万円を含む）
- ・歳末たすけあいの事業を実施する団体等へ 8,075万円

○大規模災害時におけるボランティア活動を支援するための災害等準備金の積立て 646万円

○赤い羽根や募金箱などの資材費や事務局運営などの運動推進費 2,939万円

